

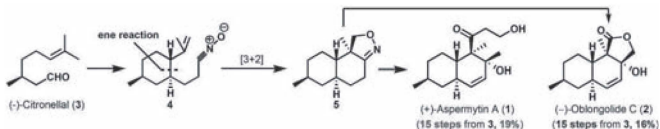
29M-am08

(+)-Aspermytin A 及び (-)-oblongolide C の全合成

○井上 敦詞¹, 兼松 誠¹, 森 聖治², 吉田 昌裕¹, 宍戸 宏造¹ (徳島大院薬,
²茨城大理)

【目的】 (+)-Aspermytin A (**1**) は、塚本らにより海洋性真菌 *Aspergillus* sp. から単離されたポリケチドである¹⁾。本化合物は神経栄養因子類似活性作用を有することが報告されている。先に、我々は分子内 Diels-Alder 反応を鍵段階とする (+)-aspermytin A (**1**) の初の全合成を報告した²⁾。今回は分子内 [3+2] 付加環化反応を活用する (+)-aspermytin A (**1**) の効率的な第二世代全合成と (-)-oblongolide C (**2**) の初の全合成を目的に研究を行った。

【結果】 (-)-Citronellal (**3**) より分子内エン反応を経由して得られるニトリルオキシド **4** の分子内 [3+2] 付加環化反応により、ジアステレオ選択的にイソキサゾリン **5** を得た。得られた **5** より各々6 数工程を経て、(+)-aspermytin A (**1**) 及び (-)-oblongolide C (**2**) へと導いた³⁾。



1) Tsukamoto, S.; Miura, S.; Yamashita, Y.; Ohta, T. *Bioorg. Med. Chem. Lett.* **2004**, *14*, 417.

2) Inoue, A.; Kanematsu, M.; Yoshida, M.; Shishido, K. *Tetrahedron Lett.* **2010**, *51*, 3966.

3) Inoue, A.; Kanematsu, M.; Mori, S.; Yoshida, M.; Shishido, K. *Synlett* **2012**, in press.